

サクラバハンノキの^{ぐんらく}群落

種 別	小松市指定文化財 天然記念物
指定年月日	昭和54年11月2日
所在地	花坂町

サクラバハンノキは、カバノキ科ハンノキ属に分類される落葉木である。ハンノキの仲間であり、葉がサクラに似ていることからこの名前がつけられた。国のレッドリストには準絶滅危惧に、石川県レッドデータブックでも絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。日あたりの良い湿地を好んで生息し、樹高は高いもので10～20メートルになる。花期は2～3月で、雄花は黒紫褐色、雌花は紅紫色となる。

サクラバハンノキは、茨城県以西の本州と九州、中国大陸の南東部に分布し、生育地は限定されている。この群落は約1800平方メートルの区域に分布しており、日本海側ではサクラバハンノキの生息数が特に少ないことから、植生上貴重なものである。

